

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



平成24年1月9日（月）～1月15日（日）〔平成24年第2週〕の感染症発生状況

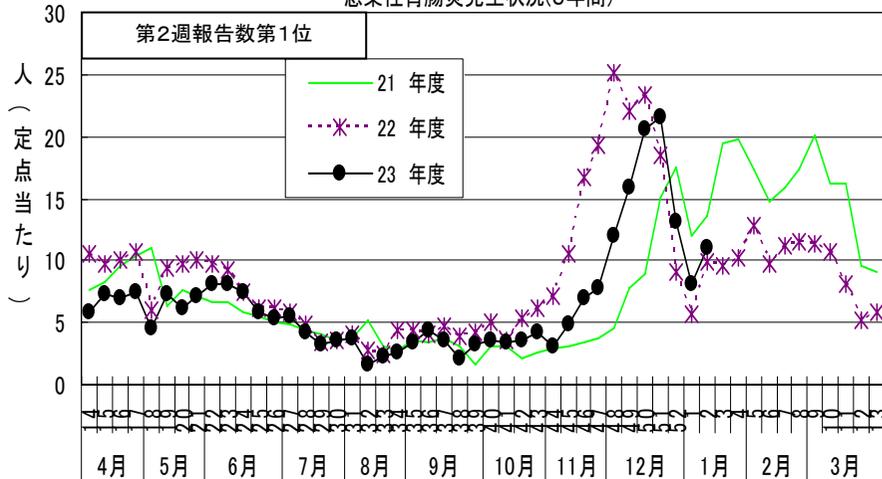
第2週で定点報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)水痘 3)インフルエンザでした。

感染性胃腸炎は定点当たり11.00人と前週（8.06）より患者報告数は増加しており、過去5年平均の同時期と比較してもやや高いレベルで推移しています。

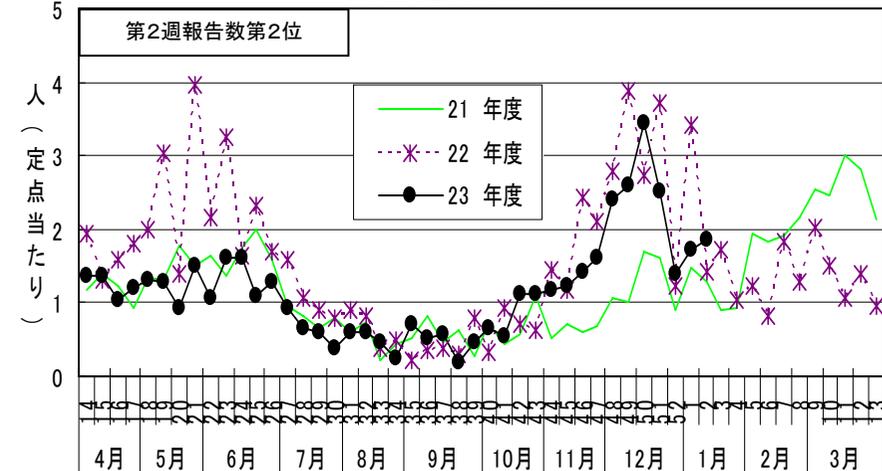
インフルエンザは定点当たり1.65人と前週（0.52）より患者報告数が大きく増加し、流行開始の目安とされる定点当たり1人を今シーズン初めて超えました。今後も、患者報告数が急増することが推測されますので、改めて予防対策の徹底が重要です。

マイコプラズマ肺炎の報告が2件ありました。昨年末に非常に多くの報告がありましたが、今年も引き続き発生動向に注目する必要があります。

感染性胃腸炎発生状況(3年間)



水痘発生状況(3年間)



インフルエンザの流行が始まりました！！

川崎市の第2週におけるインフルエンザ定点報告数は、定点当たり1.65人と前週（0.52人）に比べて増加し、流行開始の目安とされている定点あたり1人を上回りました。

インフルエンザは、例年の傾向をみると、年明け頃から2月上旬にかけて患者報告数が急増しますので、これからさらなる注意が必要です。

そのため、次の『インフルエンザ予防法 基本の6か条』を徹底し、体調管理に気をつけましょう。



①うがいと手洗い



インフルエンザの予防法 基本の6か条

②外出時のマスク



③人ごみを避ける



④十分な睡眠



⑤十分な加湿

⑥バランスが取れた食事

